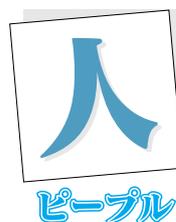


交流のひろば

情報をお寄せください。市役所広報広聴課 890-6642へ。

粘り強い戦いで得た栄冠



先月二十日まで、長崎市で開催された全国高校総合体育大会（インターハイ）で、前商水球部が十四年ぶり七度目の全国制覇。強豪チームがひしめくトーナメント戦で、主将として攻守の要を担い大活躍した。

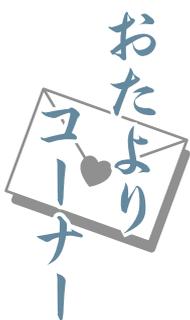
インターハイ優勝の前商水球部
志賀 諭さん(18) 小相木町

「関東大会で優勝し、一・二年部員が自信を付けて大会に臨むことができたのが勝因の一つです。ラッキーな面もありましたが、全員が気持ちで負けずに粘り強く戦って勝ち取った栄冠でした」

決勝の対山形工高戦は前半を終えて同点、後半はエースが反則で出場できない状況にもかかわらず、それをばねにチームの集中力が高まったという。
「ひやひやもののゲームでしたが、後半に強いのがうちの戦い。スタミナには自信がありました。終わってみれば四点差で優勝。監督やコーチをみんなで

ブルへ投げ入れ、喜びをアピールしたんです」
水球との出会いは小四の時。それまでスイミングスクールで競泳を習っていたが、水球にも取り組むようになり、中学生になるとジュニアチームに入った。強豪として全国に知られる前商高へ進み、今年一月、日本水泳連盟のユース選手に選ばれ、アメリカ遠征も経験した。

「高校卒業後は大学で水球を続けるつもり。そして、将来は教員になって、大好きな水球にずっと関わっていききたいな」
鍛え上げた体、黒く日焼けした笑顔から白い歯がこぼれた。



海浜訓練で

交流深める

駒形町・田代寅泰15

障害がある人とボランティアが交流する海浜訓練に参加して今年で七年になります。今年は天候が悪く、三日間とも海に入れませんでしたが、残念でしたが、代わりにいつもとは違う体験がたくさんできました。

例えば、臨海学校に向かうバスの中からいつも目にしてきた水族館に入れたことです。一度行ってみたくて思っていたのでとてもうれしかったです。

一つめは、海に入れないので、部屋の中でゆったりと話したり遊んだりすることができ、このことでこれまで以上にみんなと交流を深められたことです。これは僕だけでなく、参加者全員が喜んだことだと思います。

専門学校のボランティアさんや先生、そしてお世話してくれた皆さんありがとうございました。これからもこの楽しい夏のイベントを続けてください。来年も参加したいと思います。

まちのニュース



国領町二丁目

100人参加し 子どもみこし



九月七日、国領町二丁目、子どもみこしと屋外パーティーが行われました。毎年、薬師如来のお祭りに実施、今年は小学生など百人が参加しました。

朝の十時、薬師如来の前に子どもたちが集合。威勢の良い掛け声とともにみこしを力強く担ぎます。町の人が温かい目で見守る中、町内を一巡しました。その後は薬師会館前でパーティー。みんなで焼きそばや赤飯のおにぎりをほお張りしました。

岡田義太郎自治会長は、「子どもたちは、地域で遊ぶ機会が少なくなっています。大人になつてからの良い思い出になれば」と語っていました。